

# 【 健康 状 態 】

## 主な疾病・異常の被患率等（男女計）

### （１） 裸眼視力1.0未満（図13、表9、表10）

「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、小学校が27.8%となっています。これは、6.3ポイント全国平均値を下回っています。また、前年度と比べると、2.0ポイント増加しています。

なお、幼稚園、中学校については回答数が少ないため、公表していません。高等学校については実施校がありませんでした。

### （２） 眼の疾病・異常（図14、表9、表10）

「眼の疾病・異常」（トラコーマ、流行性結膜炎、アレルギー性結膜炎、斜視など）の者の割合は、幼稚園が0.5%、小学校が3.5%、中学校が2.9%、高等学校が2.5%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で1.1ポイント、小学校で2.2ポイント、中学校で2.0ポイント、高等学校で1.4ポイント低く、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、小学校で0.6ポイント、高等学校で1.9ポイント増加しましたが、幼稚園で0.4ポイント、中学校では0.1ポイント減少しました。

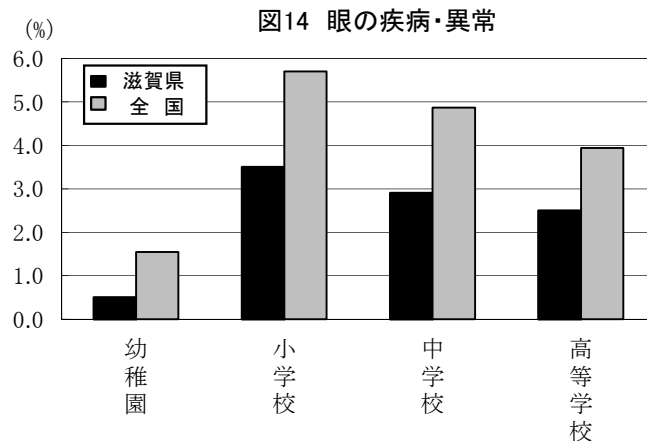
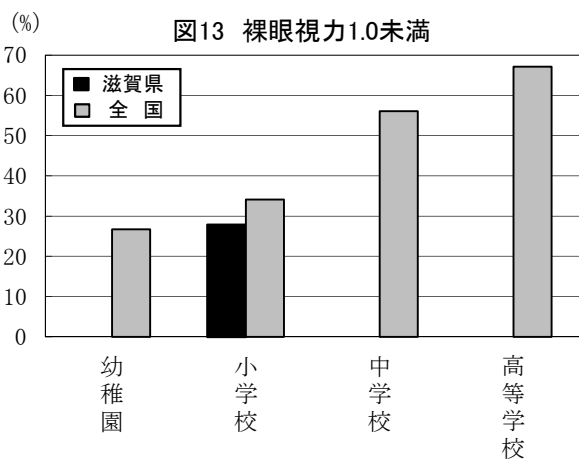
### （３） 耳疾患（図15、表9、表10）

「耳疾患」（難聴以外の耳疾患・異常。急性または慢性中耳炎、内耳炎、メニエール病など）の者の割合は、幼稚園が1.2%、小学校が3.9%、中学校が2.0%、高等学校が0.1%となっています。

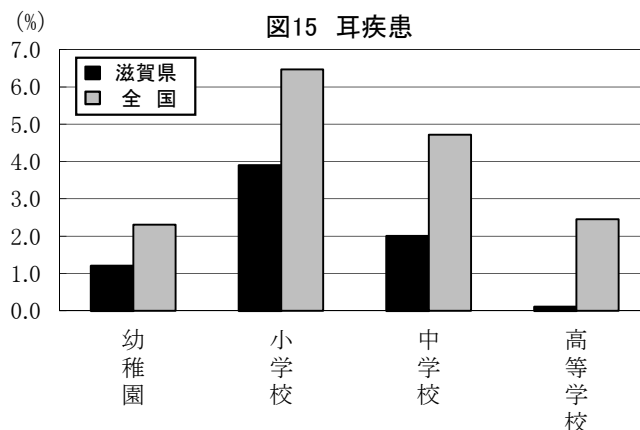
これを全国平均値と比べると、幼稚園で1.1ポイント、小学校で2.6ポイント、中学校で2.7ポイント、高等学校で2.4ポイント低く、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、中学校で0.2ポイント減少しましたが、幼稚園で0.8ポイント、小学校で0.6ポイント、高等学校では0.1ポイント増加しました。

図13～図15 滋賀県と全国の被患率の比較



(注) ・図13の滋賀県の幼稚園、中学校は回答数が少ないため、公表していません。  
 ・図13の滋賀県の高高等学校は実施校なし。



(4) 鼻・副鼻腔疾患 (図16、表9、表10)

「鼻・副鼻腔疾患」(慢性副鼻腔炎(蓄のう症)、アレルギー性鼻炎など)の者の割合は、幼稚園が1.1%、小学校が4.8%、中学校が2.7%、高等学校が2.4%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で1.8ポイント、小学校で8.2ポイント、中学校で8.3ポイント、高等学校で7.5ポイント低く、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、小学校で0.2ポイント増加しましたが、幼稚園では0.5ポイント、中学校では0.8ポイント、高等学校では0.3ポイント減少しました。

(5) むし歯(う歯) (図17、図19、表9、表10)

「むし歯」の者(治療済みの者を含む。)の割合は、幼稚園が37.0%、小学校が43.8%、中学校が32.2%、高等学校が41.8%となっています。

これを全国平均値と比べると、小学校で1.5ポイント、中学校で3.2ポイント、高等学校で3.6ポイント低く、全国平均値を下回っていますが、幼稚園では1.9ポイント上回りました。

また、これを前年度と比べると、小学校で1.7ポイント、中学校で3.7ポイント、高等学校で5.0ポイント減少しましたが、幼稚園では0.1ポイント増加しました。

むし歯の被患率の推移をみると、平成23年度から全ての学校種別で減少傾向にありましたが、今年度は幼稚園で増加しました。

(6) せき柱・胸郭・四肢の状態 (図18、表9、表10)

「せき柱・胸郭・四肢の状態」(せき柱側わん症、せき椎分離症など)の者の割合は、幼稚園が0.5%、小学校が0.4%、中学校が0.9%、高等学校が0.6%となっています。

これを全国平均値と比べると、小学校で0.7ポイント、中学校で1.5ポイント、高等学校で0.8ポイント低く、全国平均値を下回っていますが、幼稚園では0.3ポイント上回りました。

また、これを前年度と比べると、小学校では0.2ポイント減少しましたが、幼稚園で0.2ポイント、中学校で0.2ポイント、高等学校で0.2ポイント増加しました。

図16～図18 滋賀県と全国の被患率の比較

図16 鼻・副鼻腔疾患

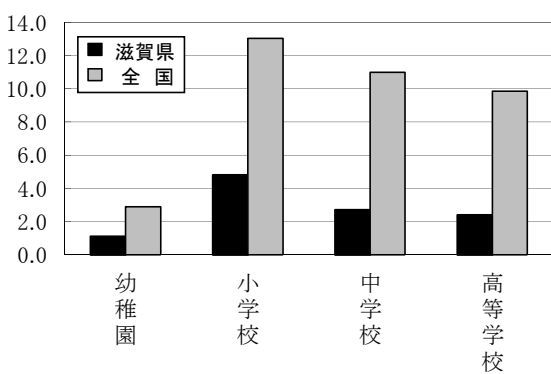


図17 むし歯(う歯)

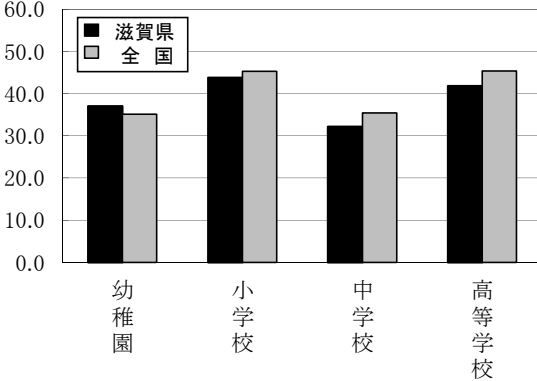


図18 せき柱・胸郭・四肢の状態

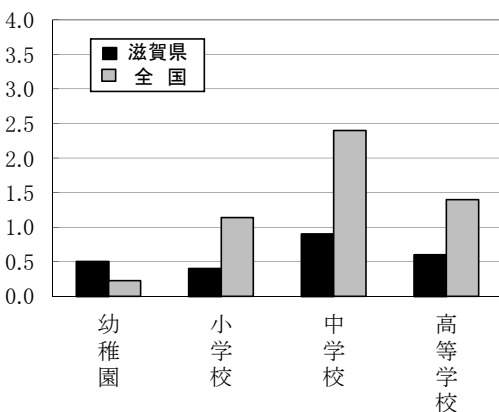
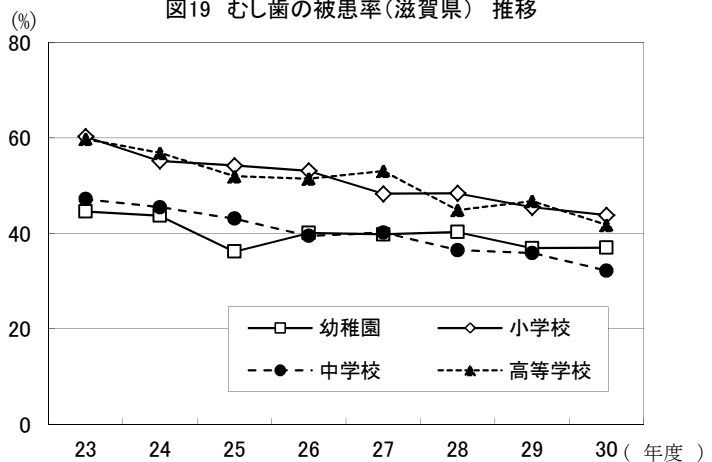


図19 むし歯の被患率(滋賀県) 推移



**(7) 心臓の疾病・異常 (図20、表9、表10)**

「心臓の疾病・異常」(心膜炎、狭心症、心臓肥大など)の者の割合は、幼稚園が0.4%、小学校が1.7%、中学校が2.3%、高等学校が1.7%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で0.1ポイント、小学校で0.9ポイント、中学校で1.3ポイント、高等学校で0.8ポイント高く、全ての学校種別で全国平均値を上回っています。

また、これを前年度と比べると、小学校で0.2ポイント、中学校で0.8ポイント増加しましたが、幼稚園で0.5ポイント、高等学校では0.1ポイント減少しました。

**(8) 蛋白検出 (図21、表9、表10)**

「蛋白検出」の者(尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出された者)の割合は、幼稚園が0.1%、小学校が0.4%、中学校が2.0%、高等学校が2.6%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で0.9ポイント、小学校で0.4ポイント、中学校で0.9ポイント、高等学校で0.4ポイント低く、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、中学校で0.4ポイント、高等学校で0.2ポイント増加しましたが、幼稚園では0.1ポイント減少しました。小学校は前年度と同じ数値となっています。

**(9) ぜん息 (図22、表9、表10)**

「ぜん息」の者(気管支ぜん息と判定された者)の割合は、幼稚園が0.6%、小学校が2.4%、中学校が0.9%、高等学校が1.2%となっています。

これを全国平均値と比べると、幼稚園で1.0ポイント、小学校で1.1ポイント、中学校で1.8ポイント、高等学校で0.6ポイント低く、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。

また、これを前年度と比べると、幼稚園で0.7ポイント、小学校で0.7ポイント、中学校で0.8ポイント減少しましたが、高等学校は前年度と同じ数値となっています。

**図20～図22 滋賀県と全国の被患率の比較**

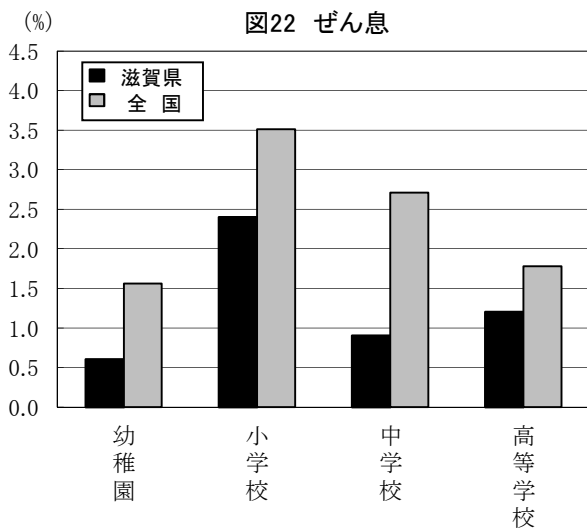
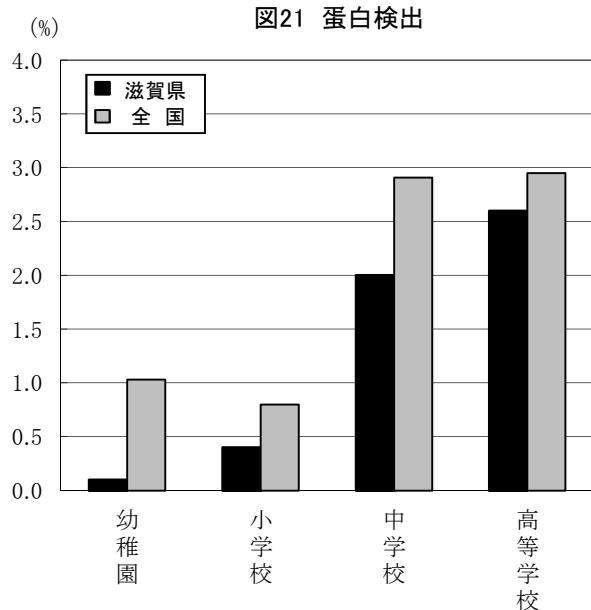
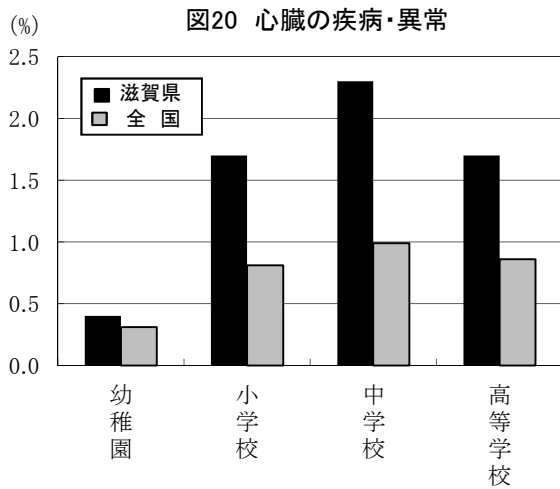


表9 滋賀県と全国の主な疾病・異常の被患率（男女計）

(単位:%)

区分	裸眼視力1.0未満			眼の疾病・異常			耳疾患		
	滋賀県(A)	全国(B)	差(A-B)	滋賀県(C)	全国(D)	差(C-D)	滋賀県(E)	全国(F)	差(E-F)
幼稚園	X	26.7	X	0.5	1.6	△ 1.1	1.2	2.3	△ 1.1
小学校	27.8	34.1	△ 6.3	3.5	5.7	△ 2.2	3.9	6.5	△ 2.6
中学校	X	56.0	X	2.9	4.9	△ 2.0	2.0	4.7	△ 2.7
高等学校	-	67.1	-	2.5	3.9	△ 1.4	0.1	2.5	△ 2.4
区分	鼻・副鼻腔疾患			むし歯(う歯)			せき柱・胸郭・四肢の状態		
	滋賀県(G)	全国(H)	差(G-H)	滋賀県(I)	全国(J)	差(I-J)	滋賀県(K)	全国(L)	差(K-L)
幼稚園	1.1	2.9	△ 1.8	37.0	35.1	1.9	0.5	0.2	0.3
小学校	4.8	13.0	△ 8.2	43.8	45.3	△ 1.5	0.4	1.1	△ 0.7
中学校	2.7	11.0	△ 8.3	32.2	35.4	△ 3.2	0.9	2.4	△ 1.5
高等学校	2.4	9.9	△ 7.5	41.8	45.4	△ 3.6	0.6	1.4	△ 0.8
区分	心臓の疾病・異常			蛋白検出の者			ぜん息		
	滋賀県(M)	全国(N)	差(M-N)	滋賀県(O)	全国(P)	差(O-P)	滋賀県(Q)	全国(R)	差(Q-R)
幼稚園	0.4	0.3	0.1	0.1	1.0	△ 0.9	0.6	1.6	△ 1.0
小学校	1.7	0.8	0.9	0.4	0.8	△ 0.4	2.4	3.5	△ 1.1
中学校	2.3	1.0	1.3	2.0	2.9	△ 0.9	0.9	2.7	△ 1.8
高等学校	1.7	0.9	0.8	2.6	3.0	△ 0.4	1.2	1.8	△ 0.6

表10 主な疾病・異常の前年比較（男女計）

(単位:%)

区分	裸眼視力1.0未満			眼の疾病・異常			耳疾患		
	平成30年度(A)	平成29年度(B)	差(A-B)	平成30年度(C)	平成29年度(D)	差(C-D)	平成30年度(E)	平成29年度(F)	差(E-F)
幼稚園	X	18.8	X	0.5	0.9	△ 0.4	1.2	0.4	0.8
小学校	27.8	25.8	2.0	3.5	2.9	0.6	3.9	3.3	0.6
中学校	X	X	X	2.9	3.0	△ 0.1	2.0	2.2	△ 0.2
高等学校	-	X	-	2.5	0.6	1.9	0.1	0.0	0.1
区分	鼻・副鼻腔疾患			むし歯(う歯)			せき柱・胸郭・四肢の状態		
	平成30年度(G)	平成29年度(H)	差(G-H)	平成30年度(I)	平成29年度(J)	差(I-J)	平成30年度(K)	平成29年度(L)	差(K-L)
幼稚園	1.1	1.6	△ 0.5	37.0	36.9	0.1	0.5	0.3	0.2
小学校	4.8	4.6	0.2	43.8	45.5	△ 1.7	0.4	0.6	△ 0.2
中学校	2.7	3.5	△ 0.8	32.2	35.9	△ 3.7	0.9	0.7	0.2
高等学校	2.4	2.7	△ 0.3	41.8	46.8	△ 5.0	0.6	0.4	0.2
区分	心臓の疾病・異常			蛋白検出の者			ぜん息		
	平成30年度(M)	平成29年度(N)	差(M-N)	平成30年度(O)	平成29年度(P)	差(O-P)	平成30年度(Q)	平成29年度(R)	差(Q-R)
幼稚園	0.4	0.9	△ 0.5	0.1	0.2	△ 0.1	0.6	1.3	△ 0.7
小学校	1.7	1.5	0.2	0.4	0.4	0.0	2.4	3.1	△ 0.7
中学校	2.3	1.5	0.8	2.0	1.6	0.4	0.9	1.7	△ 0.8
高等学校	1.7	1.8	△ 0.1	2.6	2.4	0.2	1.2	1.2	0.0